

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 9 1 7 4 4
起案日	平成 1 6 年 3 月 8 日
特許庁審査官	野村 伸雄 9 3 1 1 2 J 0 0
特許出願人代理人	志賀 正武 (外 6 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

## 記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・ 請求項 1 ～ 3
- ・ 引用文献等 1 ～ 4
- ・ 備考

(引用例 1 には、単結晶シリコンの引き上げの原料として用いる多結晶シリコンの評価方法であって、前記多結晶シリコンを溶解し得る薬液中に粒状の多結晶シリコンを浸漬させた前後に純水中に入れ、該純水中に含有される異物の数を測定する多結晶シリコンの評価方法が記載されている。

そして、引用例 2 には、シリコンウエハの評価方法であって、前記シリコンウエハを溶解し得る薬液中にシリコンウエハを浸漬させた後、前記薬液中に含有される異物の数を測定するシリコンウエハの評価方法が記載されており、引用例 1、2 ともにシリコンの異物を検査する技術であるので、引用例 1 に薬液中の異物の数を測定する技術を採用することは、容易に想到し得ることと認められる。

また、異物の数の測定に加えて前記異物の成分分析を行う技術は引用例 3、4 にも記載されているように周知技術であり、加えて引用例 2 には、薬液を循環濾過する技術が記載されている。)

## 引用文献等一覽

1. 特開平05-319990号公報
2. 特開平06-283498号公報
3. 特開平11-171685号公報
4. 特開平02-259563号公報

## 先行技術文献調査結果記録

・調査した分野	I P C第7版	G 0 1 N	1 5 / 0 0 ~ 1 5 / 1 4
		G 0 1 N	1 / 2 8
		G 0 1 N	3 3 / 0 0
		C 3 0 B	1 5 / 0 0
		C 3 0 B	2 9 / 0 6

・先行技術文献

特開平09-007992号公報

特開平08-048512号公報

特開 2000-128692 号公報

この先行技術文献調査結果記録は、拒絶理由を構成するものではない。

＜内容に関する問い合わせ＞

特許審査第一部 材料分析 Tel 03(3581)1101 内線3251

特・実・意・商

年金 No.

願番

2000-191744

15. 2. 24 名義変更 自社提出

出願人	(三菱マテリアルシリコン(株)) 三菱マテリアルポリシリコン(株)	
出願人住所	三菱住友シリコン(株)	符 号
名 称	多結晶シリコンの評価方法 平成7年7月1日施行法	
出 願 日	12. 6. 26	請求項の数 3
審査請求日	14. 10. 3	年金請求項数
巨 絶 通 知	1 16. 3. 16	1 意見照会 日迄
	2	2 意見照会 日迄
	3	3 意見照会 日迄
	4	4 意見照会 日迄
補 正 書	12. 7. 6-(株)	意見書に代える 手続補正書
	3	4
意 見 書	1	2
	3	4
公告決定日	登 録 料	審判整理No.
公 告 日	登 録 日	審 判 番 号
顧客整理No.	S2163JP-1-JE664	顧客窓口担当者 郡司 哲
受 任 No.	J 5082728	受任日 12. 3. 13
担 当 者	受 任	明細書
	補正書	補正書
	意見書	意見書
	異議答弁	審 判
	請求折半 送付各社	
出願 (三菱マテリアルポリシリコン)		
資料 (540)		
15. 2. 24 名義変更 自社提出		
年 月 日	氏より送附受	文書 電話
送附理由	・ 放浪する・しない	
送附方法	・ 本送する・しない	
OS P 10476 ~ 10480		
送付先	1. 各社 2. 窓口一括 ( ) 3.	請求事項
出願形態	1. オンライン 2. F・D 3. 紙	整理 No. S
		願番 2000-191744

共 同 出 願